

「体験！上海万博」

～お薦めパビリオンの紹介と上海万博の効果～

上海駐在員事務所

秘書 王 一

本年 5 月 1 日より上海では「より良い都市、より良い生活」をテーマにした上海万博が開催されています。2010 年 8 月 8 日には開幕 100 日を迎え、入場者数は累計で 3,700 万人を超え、1 日の入場者数が 55 万人を超える日もあったようです。

6 月 1 日に主人と私は一歳半になる娘を連れて上海万博に行ってきました。人気のある中国館や日本館、サウジアラビア館などは長時間並ぶ必要があるため、効率的に廻れるよう待ち時間 30 分以内のパビリオンを中心に見学しました。今回見学したパビリオンの中でも中国国家電網館、シンガポール館は特に印象深かったので少しご紹介致します。

< 中国国家電網館 >

万博会場内のパビリオンでは、3D 映像を使ったディスプレイを設置している所も多くありますが、国家電網館の 3D には大変驚かされました。他のパビリオンの 3D ディスプレイが前後 2 方向だけなのに対して、国家電網館のディスプレイは上下左右前後 6 面が全て LED ディスプレイになっており、今までに無い感覚を体験することが出来ました。

< シンガポール館 >

シンガポール館のテーマは「都市の交響曲」です。館内には音楽トランポリンがあり、子供たちが跳躍する度に音楽が鳴っていました。子供連れの観光客には特にお薦めです。

今回万博を訪れてみて各国のパビリオンの素晴らしさに感動すると共に、万博会場内のボランティアの方々の行動にも胸を打たれました。気温 40 を超えるような酷暑にもかかわらず、長時間立ち続けで観光客の質問に笑顔で対応していました。また、万博内には乳幼児用のレンタルベビーカーや専用の休憩室も準備されている為、一歳半の娘を連れて来た私にとっては大変助かりました。休憩室の中のボランティアの方々もとても親切に接してくれました。

上海万博が開催されたことで、私は異文化をより理解することができたと思います。今まで見聞きしたことのない技術や文化などを目の当たりにして視野が広がったように感じました。また、万博が開催されたことによりインフラ整備が進み、上海に住む人達にとっても生活がより便利になると共に、環境問題や生活マナーについての意識も高まったのではないのでしょうか。

シンガポール館



国家電網館



国家電網館 LED ディスプレイ

